

出題範囲:仮定法・間接疑問＋3年間の総まとめ(中3・学年末)	時間:45分	難易度:標準
--------------------------------	--------	--------

このテストのストーリー 去年まであなたの学校に留学していた1つ年上の Olivia(オリビア)は、いまカナダの高校生。卒業と入試をひかえた3学期、あなたはOliviaと近況を伝え合い、勉強のアドバイスをもらい、感謝のメッセージを送る――3年間で学んだ英語をぜんぶ使う学年末です。

※設計サンプル(ひな形)です。Word版で自校の範囲・固有名詞に差し替えて使えます。場面を思いうかべながら解こう。見直しの時間も忘れずに。

大問1 リスニング Oliviaのメッセージと、勉強の相談の対話を聞いて答えよう。 知技・思判表 /20点

場面 卒業が近づいたある日、Oliviaからクラスにビデオメッセージが届きました(Part A)。そのあと、あなたはOliviaとビデオ通話で話します(Part B)。メモを取りながら聞いています。放送はそれぞれ2回流れます。

Part A Oliviaからクラスへのビデオメッセージを見て、メモの空らんを日本語で埋めよう。(各2点)

Oliviaの近況	(①)	日本で学んだ大切なこと	(②)
受験へのアドバイス	(③)	Oliviaの願い	(④)

⑤ あなたが3年間でできるようになったことを、Oliviaに英語1文で伝えよう。(3点)

Part B そのあと、Oliviaとビデオ通話で話しています。対話を聞いて答えよう。((1)～(3)各2点)

(1) Oliviaの今週末の予定は何ですか。	()
(2) Oliviaがすすめる英語の勉強法は何ですか。	()
(3) Oliviaが送ってくれるものはどれ？ ア 学校祭の写真 イ 英語の教科書 ウ 日記帳	()
(4) この対話のあと、あなたが今夜しそうなことはどれ？(3点) ア カナダ行きの荷造り イ 英語で日記を書き始める ウ 演劇の練習	()

大問2

文法・語い

チャットとメモが成り立つように、()の英語を完成させよう。

知識・技能

／20点

場面 カナダのOliviaと、受験と近況についてメッセージのやり取りをしています。

You: Hi, Olivia! Can I ask you something? Please tell me how you (① choose) your high school.
Olivia: Sure! I visited many schools. If I(②)you, I would go to the open days.
You: I see! I don't know what I(③)study first, English or math.
Olivia: Both! I(④)been studying for my exams since last month, too.
You: Really? I wish I(⑤)study with you again.
Olivia: Me too! By the way, how is Mr. Sato? He is the teacher(⑥)helped me a lot.
You: He's fine! He often asks me(⑦)you are doing in Canada.
Olivia: Haha, tell him I'm fine! What(⑧)you want to be in the future?

※①は()内の語を過去形にしよう。ほかは1語で補おう(仮定法・間接疑問の形に注意)。(各2点)

〈オリビアのメモ・各2点〉 Olivia has a friend(⑨)speaks Japanese with her. / She(⑩)visited Kyoto twice with her family.

①		②		③	
④		⑤		⑥	
⑦		⑧		⑨	
⑩					

大問3

場面のやり取り

受験と卒業の季節。それぞれの場面に合う英語はどれ？

思・判・表

／10点

場面 受験や卒業をひかえた毎日の、いろいろな場面の英語を考えます。

場面に合う英語を選ぼう。(各2点)

(1) 先輩に、勉強のしかたをていねいにたずねるなら？ ア How do you study? イ You should study hard. ウ Could you tell me how you study?	()
(2) 「受験勉強の時間がもっとあればなあ」という気持ちを伝えるなら？ ア I have a lot of time. イ I wish I had more time. ウ I will have time.	()
(3) 「将来何になりたいか、まだ分からない」と伝えるなら？ ア I don't know what I want to be yet. イ I want to be a teacher. ウ What do you want to be?	()
(4) 進路になやむ友だちに、アドバイスするなら？ ア You must go to this school. イ If I were you, I would talk with our teacher. ウ I went to the teachers' room.	()
(5) 卒業式のあと、海外の高校へ進むクラスメイトにかけると一言は？ ア I'm sorry to hear that. イ You're welcome. ウ Good luck! Keep in touch!	()

大問4 資料の読み取り 高校の見学会の案内を読んで、友だちの学校えらびを手伝おう。 知技・思判表 /20点

場面 同じクラスのケンが、2つの高校の見学会の案内を見ながらなやんでいます。

Hikari High School — Global Course School Open Day: February 7 (Sat), 10:00 a.m. Try an English debate class Exchange program: three months in Canada Bring your indoor shoes.	Midori High School — English Course School Open Day: February 14 (Sat), 1:00 p.m. Online classes with high school students abroad School trip to Singapore Please sign up on our website.
---	--

ケンのメッセージ "I want to study abroad while I'm in high school. And I have a big tennis game on February 14. I don't know which school I should visit..."

(1) 案内から読み取ろう。(各2点) ① ひかり高校の見学日は？	2月()日	② ひかり高校に持って行くものは？	()
③ みどり高校の見学会が始まる時こくは？	(:)	④ みどり高校の申し込み方法は？	()

(2) ケンのメッセージに合う見学会はどちらですか。(記号2点) A Hikari High School B Midori High School	()
---	-----

そう考えた理由を、ケンのメッセージと、案内の内容(特色・日にち)の両方にふれて日本語で書こう。(3点)

(3) みどり高校のことも調べられるように、ケンにどう声をかけますか。案内の情報を使って日本語で書こう。(3点)

(4) (3)の内容を、英語1文でケンに伝えよう。(4点)

大問5 読解 3年間で学習した教科書の説明文を、もう一度読んで答えよう。

知技・思判表

／20点

場面 入試に向けて、3年間の教科書の文章を読み直します。先生が「学年末はこの文章」と選んだものです。

▼ 本文貼り付け枠(Word版で、3年間(総復習の範囲)で学習した教科書の本文・説明文をここに貼り付け)

問1 この文章の要旨に合うタイトルを選ぼう(選択肢は本文に合わせて先生が作成)(3点)	()
問2 本文の内容と合っていれば○、ちがっていれば×を書こう。①～④(各2点)	①()②() ③()④()
問3 下線部の語の意味を、前後の文から推測して選ぼう(3点)	()
問4 筆者の主張とその理由を、本文の言葉を手がかりに日本語で説明しよう。(3点)	
問5 本文のテーマについて、あなたの考えを英語1文で書こう。(3点)	

大問6 ライティング Oliviaに、卒業前の感謝と「もし～なら」の気持ちを伝えよう。

知技・思判表

／10点

場面 卒業を前に、Oliviaへ感謝と近況を伝えるメッセージを書きます。3年間でふり返り、「もし～なら」の気持ちもそえて、Oliviaが返事を書きたくなるように。

条件 ①中学校生活でいちばん心に残っていることを1つ以上 ②「もし～なら」と想像して伝えたい気持ちを1つ以上 ③メッセージの最後に、Oliviaへの質問を1文(ていねいにたずねる形も可)

30語以上の英語で。卒業前の気持ちがOliviaに伝わるように書こう。

評価の目安(10点)	内容(条件を満たし、Oliviaに伝わるか)…6点 + 英語(語数と正確さ)…4点

書き終わったら見直しチェック ☐ 大文字・小文字 ☐ 文末のピリオド／？ ☐ 形(仮定法は If + 過去形, would/could・間接疑問は〈疑問詞 + 主語 + 動詞〉の順) ☐ 読む相手(Olivia)に伝わる内容か

1 テスト設計表(何を・どの場面で・どの観点で測るか)

作問はこの表から始めます。大問を作ってから観点を後づけするのではなく、測りたい力に場面を与えるのが順序です。観点の配点バランスは 知識・技能 50点／思考・判断・表現 50点(3年間の到達点。2学期の51:49からさらに進め、公立入試の思考型比重に定期テストからそろえる)。

大問	場面・課題	測る力	観点	配点
大問1	海外の高校に進んだ先輩のビデオメッセージ(近況・アドバイス)と、勉強法相談の対話を聞く	仮定法・間接疑問を含む話の聞き取り(知技)／状況からの判断・自分の成長を書く(思判表)	知技・思判表	20(2点×7・3点×2)
大問2	先輩との受験・近況チャットが成り立つように語・語形を判断する	文脈の中で仮定法・間接疑問と、3年間の文法(現在完了・関係代名詞など)を正しく使う	知技	20(2点×10)
大問3	受験・卒業の場面(相談・願い・進路・アドバイス・別れ)で適切な応答を選ぶ	目的や場面、状況に応じて表現を選択する	思判表	10(2点×5)
大問4	高校2校の見学会案内を読み、友だちの希望に合う見学先を選んで伝える	資料の読み取り(知技)／情報を結びつけて判断し、英語で伝える(思判表)	知技・思判表	20(2点×4・3点×2・4点×1)
大問5	教科書の説明文(貼り付け枠)を「要旨→事実→語句推測→筆者の主張→自分」の5層で読む	概要・要点の把握、語句推測(知技)／筆者の主張の理解・自分の考えの表現(思判表)	知技・思判表	20(2点×4・3点×4)
大問6	卒業を前に、先輩へ感謝と「もし～なら」の気持ちを伝えるメッセージを書く	仮定法・間接疑問と3年間の文法を使い、条件に沿って読み手を意識して書く(評価規準・評価基準は次ページ)	知技・思判表	10(知技4・思判表6)

2 リスニング台本(2回読み・自然な速さで)

(2sec)(3sec)はポーズの秒数です。ALTに依頼する場合はこの台本をそのまま渡せます。

Part A(Oliviaからクラスへのビデオメッセージ)
Hello, everyone! It's Olivia. I really miss your school. (3sec)
I'm enjoying my high school life in Canada. I'm in the drama club now. (3sec)
In Japan, I learned an important thing: making mistakes is not bad. So don't be afraid, and speak a lot! (3sec)
My advice for your exams: read your textbook out loud every day. (3sec)
I wish I could go to your graduation ceremony! Good luck, everyone! (3sec)

Part B(ビデオ通話での相談)
You: Hi, Olivia! Thank you for the video message! (2sec)
Olivia: You're welcome! Oh, I have a drama festival this weekend. We'll perform an English play. (3sec)
You: Sounds great! By the way, I don't know how I should study English at high school. (3sec)
Olivia: I write a diary in English every day. It really helps. If I were you, I would start tonight! (3sec)
You: OK, I'll start tonight! (2sec)
Olivia: Great! I'll send you some photos of my school festival, too. (2sec)
You: Thank you! I can't wait. (2sec)

3 解答例・許容範囲

大問1	A:①カナダの高校で演劇部 ②まちがいは悪くない ③毎日教科書を音読 ④卒業式に行きたい ⑤例:I can talk with our ALT in English now.(発展版は2文目に質問があれば満点) B:(1) 演劇祭で英語劇を演じる (2) 毎日英語で日記を書く (3) ア (4) イ
大問2	① chose ② were ③ should ④ have ⑤ could ⑥ who ⑦ how ⑧ do ⑨ who ⑩ has ※②⑤は仮定法(If I were you/I wish I could)。①③⑦は間接疑問(疑問詞+主語+動詞)。④⑩は現在完了、⑥⑨は関係代名詞(総復習)。許容解は採点前に決めておく。
大問3	基礎・標準版:(1) ウ (2) イ (3) ア (4) イ (5) ウ / 発展版(別れの場面を除く4問):(1) ウ (2) イ (3) ア (4) イ
大問4	(1) ①7日 ②上ばき ③1:00(13:00) ④ウェブサイトで申しこむ (2) A / 理由:ケンハは「在学中に留学したい・2月14日は試合」と言い、ひかり高校はカナダ留学制度があり見学日も2月7日(メッセージと案内両方への言及で満点、片方のみ部分点2点) (3) ア (4) ア(英文として伝わる=2点+情報が適切=2点)
大問5	貼り付けた本文に合わせて作成。問1の誤答は「話題は同じだが要旨とずれるタイトル」を2つ。問2の×文は本文と1か所だけ変える。問3は未習語・派生語を下線に。問4は主張の手がかり語を決めてから採点する。

4 ライティングの評価規準・評価基準(作問時に確定＝採点のブレを防ぐ)

評価規準(のりじゅん)＝「おおむね満足できる」状況(B)を文章で決めたもの。評価基準(もとじゅん)＝a/b/cの段階と点数の物差し。国立教育政策研究所の参考資料の様式に合わせ、作問時にこの2つを確定してから出題します(採点のブレを防ぐ＝信頼性)。

評価規準(B)	卒業を前に、お世話になった先輩へ感謝と近況を伝えるという目的に応じて、3年間の思い出(過去・現在完了)と「もし～なら」の気持ち(仮定法)を、意味の伝わる英文で書いている。
---------	---

	思考・判断・表現(内容の適切さ)…6点	知識・技能(語数・正確さ)…4点
a	条件をすべて満たし、読み手(Olivia)が返事を書きたくなくなる工夫がある …6点	指定の語数を満たし、仮定法(If+過去形, would/could・wish)の形の誤りがほとんどない …4点
b	条件をすべて満たしている …4点	誤りが一部あるが、理解に支障はない …3点
c	条件の一部を満たしていない …2点	語数不足、または支障のある誤りがある(伝えようとはしている) …1～2点

・「主体的に学習に取り組む態度」はテストでは点数化せず、思判表と一体的に見る(国研参考資料の立場)。・条件に「仮定法を使って」等の言語材料の指定はしない。「もし～だったらなあという気持ち」という内容条件が仮定法の使用を自然に促す(提示がない状況で使えるか＝技能の評価)。・cの生徒への手立て:返却時に条件チェック表で自己点検→書き直し提出で再評価。減点でなく「できていることを数える」加点で運用。

5 自校仕様へのカスタマイズ(Word版)

固有名詞	Olivia を自校の卒業生・元留学生・帰国したALTに、高校の案内は地域の高校の公開情報(校名は仮名)に差し替える(問いの型は変えない)。
範囲の調整	仮定法・間接疑問が既習済みの学校は、大問2の総復習(現在完了・関係代名詞)の割合を増やす。入試直前期は大問7を公立入試の条件英作文形式に差し替え可。
大問5の本文	3年間(総復習の範囲)で学習した説明文・意見文を貼り付け、問1のタイトル選択肢(正解1+要旨とずれる誤答2)、問2の○×文、問3の下線語、問4の主張設問を作る。
リスニング	Premium音声(英検方式の全英語進行・各2回読み・解答ポーズ入り)をそのまま再生して実施できる。自前で実施する場合は台本2本をALTに渡して録音、またはその場で読む(各2回・自然な速さ)。時間の目安はリスニング10分・大問2～5で25分・ライティング7分・見直し3分。
配点の調整	知技小問2点・思判表3点・応用4点・ライティング10点の刻みを保つと1問の重みが大きくなりすぎず、観点別の集計も簡単。中3の学年末は入試の比重(思考型が過半)にそろえる。

